



豊後大野市立緒方中学校学校だより

青雲の大志

令和5年11月9日

NO.20-2 文責 校長 内海真理子

【学校教育目標】 自他を尊重し、論理的な思考力と豊かな表現力で、粘り強く課題解決を図る生徒の育成



閉会式における 実行委員長あいさつ

1年生は、初めてながらも先輩の姿を追い、積極的に取り組んでいました。1年生の働きっぷりは、2年生にとっても助かりました。3年生は、まだリーダーの仕事に慣れていない2年生を支えてくれました。そして、3年生がインフルエンザで休んだ時、改めて3年生の存在は大きかったのだと実感しました。2年生は、生徒会の中心となり、初めての大きな行事でした。意見が合わなかったり、時間がなかったりしたこともありましたが、力を合わせて良い文化祭を創ることができました。

最後に、文化祭の準備で疲れていた私たちの疲れをとってくれた保護者のみなさん、帰りが遅いときに見守ってくださった地域のみなさん、厳しい言葉もありましたが、私たちを優しく支えてくださった先生方、ありがとうございました。この1か月間、時間が経つのが早く、1日1日が濃いものとなりました。文化祭を通して得た達成感や感動は、忘れないと思います。(2年 阿南 莉緒さん)

生徒の振り返りから —準備の過程で 自分の成長を感じました—

*初めての文化祭でした。私はダンス係で、文化祭までにしっかり踊れるか心配だったけれど、2、3年生が分からないところを教えてくれたので、本番では、いいダンスができ、よかったです。

*印象に残ったことは全校合唱です。今まで、パート練習や音楽の授業で練習してきました。最初は高い声が出なかったけれど、先生やパートリーダーのアドバイスで、歌っていくたびにだんだん高い声が出せるようになって、よかったです。本番では、大きな声でブレスに気を付けて歌うことができたし、みんなも歌うのがとても上手で、とてもいい全校合唱になりました。

*この文化祭で学んだことは、協力することの大切さです。全校が協力しないとよい文化祭が出来ないことを知ったので、来年も頑張りたいです。

(1年 河野 愛佳さん)

*僕が頑張ったことは、役者です。難しいのが笑い方です。辛そうに笑うのが本当に難しいです。セリフを覚えるのも大変でした。じゃべり方の工夫で、強くするところ、弱くするところを工夫しました。

*学んだことは、慌てないということです。やっぱりセリフは早めに覚えた方がよいと思いました。これは宿題も同じで、提出物も早めに終わらせることがよいと思いました。*最後の片づけのとき、ごみを拾ったりテープをはがしたりして、先生の持っていたゴミも受け取り、気遣いできました。これもこれからの学校生活で活用していきたいです。これまであまりしゃべらない人との仲を築けたりもしました。文化祭で仲良くなった友だちもいるし、面白い人もいたので、楽しかったです。(1年 江藤 琉輝さん)